

1 環境にやさしい商品をつくろう



洗剤（せんざい）は川や海をよごすっていわれているけど、キミたちの身の回りにある商品で、大量生産、大量消費されるものは、つくられるときも大気への影響（えいきょう）や排水（はいすい）の問題があるんだ。だから環境（かんきょう）に対する考え方は、商品のライフサイクル単位で取り組むことが大切なんだ。

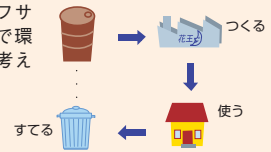


商品のライフサイクルってなに？

- : 商品のライフサイクルってなに？
- : 原料から商品が生まれて、使われてごみになるまでの商品の一生をライフサイクルというんだ。会社はライフサイクル全体で環境を守るために取り組んでいて、洗剤を使ったあとの排水もよごれないようにしているよ。

まとめ the point

商品のライフサイクル全体で環境のことを考えてみよう。



ライフサイクルでしている工夫は？

- : ライフサイクルで、どんな環境対策（たいさく）をしているの？
- : 使う材料を工夫しているよ。原材料を再（さい）利用しているんだ。
- : 材料もリサイクル製品（せいひん）を使っているんだ！
- : 花王では「アタック」の箱、計量スプーンはリサイクル製品だ。

まとめ the point

環境対策のために商品の原材料もリサイクル製品を使っている。



どんな開発をして環境を守っているの？

- : 洗剤の成分を改良してコンパクト化することで、工場でも産業廃棄物（はいきぶつ）や製造（せいぞう）エネルギーをへらしているんだ。
- : 商品をつくると大気をよごす物質（ぶっしつ）も出るの？
- : そうだよ。商品を運ぶ車も排気ガスを出すから、ムダなく運ばないとね。

まとめ the point

開発や製造のときにも環境への影響を考えて商品をつくっている。



家庭でも環境のことを考えてみよう

- : 家でも容器（ようき）の再利用など、環境を守るための活動ができるね。
- : そうだね。大量生産、大量消費、大量廃棄が自然にわたる影響は大きい。循環（じゅんかん）型社会をめざして、ごみやエネルギーが少なくなるしくみなどに、社会全体で取り組まなくてはならないね。

まとめ the point

商品のライフサイクル全体が循環型になるように、社会全体でめざしている。



豆知識 まめちしき

循環型社会って どういう意味？

循環という言葉の意味は、「ひと回りしてもとにもどり、それを何度もくり返すこと」です。循環型社会とは、みんなが資源（しげん）とエネルギーをできるだけ循環させようという考えをもち、そのためのしくみが整っている社会をいいます。循環型社会では、商品のライフサイクルである「つくる→使う→すてる」のうちの「すてる」ことから出る「ごみ」を資源として、できるだけ「つくる」材料に利用します。循環型社会をめざすには、工場で商品を生産するとき、お店で商品を選ぶとき、使い終わってすてる時など、いつでも「エネルギーや資源の使用量をへらし、ごみを出さない」ように努力することが必要です。